

場所：和歌山市和歌浦中 2-10-8（明光通り）

登録有形文化財 多田家住宅

日時：2021年11月20日, 21日 11:00-16:00

2021年の夏は暑く、夜の涼しさが身に染みた。そんな夜、旧知の画家、藪野健先生と絵の中の旅をする機会があった。数日ごとに、メールで数枚ずつ、スペイン、イタリア、中国、エジプト・・・と水彩スケッチの写真が、短文とともに届いた。藪野先生の筆は恐ろしく速い。簾状の筆ケースに様々な画材を持参されるが、特に空の青は重要だ。ある日のスケッチに、1998年の明光通りの風景を見つけた私は思わず声を上げた。よく見ると町並みが今とは少し違う。2019、2020年と、市の助成も得て明光商店街の地図を作ったが、わずか1年でも町は生き物のように変化した。明光通りはどの方向に向かっているのか。

この機会に藪野先生のスケッチを皆さんにも見て頂こうと思う。併せて2019年に行った「明光通りで踊ろう！近藤良平がやってきた！」の記録映像も公開させて頂く。展示のために絵を貸与頂いた藪野先生に感謝申し上げる。また今回 WANDER STREET にお誘い頂いた宮原さんにも感謝する。

西本直子 contact: naokonishimoto@gmail.com

後援：稲門建築会

早稲田大学校友会和歌山支部

内容：藪野健先生の1998年、明光通りのスケッチ展

2019年「明光通りで踊ろう！近藤良平がやってきた！」

記録動画上映 約8分



明光通りの登録有形文化財 和田邸（明治36年）と梅本邸（大正10年）



\* 敬称略

<場所提供>多田邸（多田多美子、仁木宏）

<特別協力>藪野健

<協力>梅本江津子、小泉博史、嶋田智、中北智子、西本耀、坂東大介、WANDER STREET、和歌の浦ファンタスティコ

藪野健（やぶの・けん）

早稲田大学名誉フェロー、名誉教授、  
日本藝術院会員、府中市美術館館長、  
二紀会理事

<略歴>

1943年9月1日 愛知県名古屋に生まれる

1969年 早稲田大学大学院文学研究科芸術専攻美術史修士課程修了

1970年～1971年 マドリード、サン・フェルナンド美術学校プロフェソラー  
ド留学

1976年～2010年 早稲田大学、武蔵野美術大学にて教鞭を執りながら制作活動  
を行う

2011年～2012年 早稲田大学本学会津八一記念博物館館長

2015年 府中市美術館館長

<受賞歴>

1975年 昭和会展優秀賞受賞・作品：「小さい町」

1975年 シェル美術賞展三等賞・作品：「まちの門」

1978年 安井賞展佳作賞受賞・作品：「僕の小学校」

1985年 日本青年画家展優秀賞受賞・作品：「1936春 アラゴン」

1991年 二紀展文部大臣賞受賞・作品：「時を刻み、又時が」

2009年 日本藝術院賞受賞・同会員・作品：「ある日アッシジの丘で」

2012年 早稲田大学大隈記念学術褒賞受賞 研究題目：「絵画・藝術工学・都市藝  
術表現」

2018年 早稲田大学芸術功労者

<作品収蔵>

早稲田大学、日本藝術院、衆議院（憲政会館）、東京都現代美術館、愛知県美術館、  
神奈川県立近代美術館、栃木県立美術館、豊橋市美術博物館、碧南市立藤井達吉  
記念美術館、浜松市立美術館、府中市美術館、新潟市立美術館、宇都宮市美術館、  
小山市立車屋美術館、箱根の森美術館（フジテレビ）、トヨタ博物館、式年遷宮  
記念神宮美術館、伊勢現代美術館、笠間日動美術館、森美術館（いわき市）など。

<著書>

「たてものをかく - 建築と絵画 -」[単]（ポプラ社 1983年）、「早稲田小辞典」[共]  
（論創社 1984年）、「明治建築の旅」[共]（新潮社 1988年）、「東京2時間ウォー  
キング 下町編」[単]（中央公論新社 2001年）、「東京2時間ウォーキング 山  
の手編」[単]（中央公論新社 2002年）、「東京2時間ウォーキング 都心編」[共]（中  
央公論新社 2002年）、「藪野健 都心を描く」[単]（読売新聞社 2002年）、「横  
浜2時間ウォーキング」[共]（中央公論新社 2002年）、「東京2時間ウォー  
キング 都電川線」[共]（中央公論新社 2002年）、「バリ2時間ウォーキング」[共]  
（中央公論新社 2002年）、「絵画の着想 - 描くとはなにか -」[単]（中央公論新社  
2003年）、「漱石2時間ウォーキング」[共]（中央公論新社 2003年）、「荷風2  
時間ウォーキング」[共]（中央公論新社 2004年）、「プラド美術名画に隠れた謎  
を解く」[単]（中央公論新社 2006年）、「東京2時間ウォーキング 銀座・日本橋」  
[共]（中央公論新社 2008年）、「画集「早稲田風景～紺碧の空の下に～」」（中央公  
論新社 2015年）